

事業期間 H20 ～ H22

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）

2. 事業名等

3. 事業の内容等

事業の目的及び対象

4. 予算・決算の状況

5. 実績及び達成目標等

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値

活動指標	導入、保留牛の育成費の補助額												
効率指標	前年度決算額＞当該年度決算額 ⇒ 平成21年度は、コスト評価（経済性、効率性、効果性）を実施する。												
成果指標	①繁殖雌牛更新率												単 位
													%
年 度	H 17		H 18		H 19		H 20		H 21		H 22		備 考
種 別					更新率		更新率		更新率		更新率		
目標値					5		5		5		5		
実績値					5								
達成率					100.0%								
備 考													

総合計画／実施計画書 事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局

部局名
課室名

産業経済部
農業振興課

6. 前年度の事業評価					評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。		
理由	肉用牛の振興を図るには、更なる改良促進と種雄牛造成を行う必要があり、そのためには優良雌牛系統の確保が重要であるため。					
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	4	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。		
理由	民間による補助が行われておらず、行政が実施主体となる必要がある。					
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。		
理由	繁殖雌牛の導入に係る経費の一部を行政が補助する方法が最も妥当であるため。					
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。		
理由	優良雌牛系統の確保にきわめて高い効果があるため。					
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。		
理由	本事業は肉用牛を振興するためには不可欠であり、現行規模を維持する必要があるため。					
人体 員制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。		
理由	兼任業務であり、現状の人員以上の削減が困難なため。					
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。		
理由	肉用牛振興に寄与しており、現状維持が望ましいため。					
その他、特記事項		事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
市単独事業であるため、今後見直しを検討する。						
部 長		課 長		班 長		担当者
						内線 2550 E-mail @bungo-ohno.jp